

加古川市立中央図書館だより

ぶっくガーデン

NO.275 -2025年10月-

(URL) <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kakogawa/>

(発行)加古川市立中央図書館

〒675-0101

加古川市平岡町新在家1224-7

(TEL) 079-425-5200

(FAX) 079-425-6696



鉄道のたのしみ

今月は、「加古川の交通と駅弁・舟運から鉄道へ」と題した、講演会を開催します。そこで鉄道を扱った小説などをご紹介します。鉄道の世界をお楽しみください。



・阪急電車

有川 浩

幻冬舎

Fーア

兵庫県の西宮市と宝塚市を結ぶ今津線の北側は、わずか8駅、時間にして15分弱の短い路線です。この小説は、その路線の往復の間に電車の中で起こる出来事を、短編小説にしています。電車を乗り降りする乗客の人間模様を映し出しています。読めば、思わず今津線に乗ってみたいくなること請け合いです。

・ローカル線で行こう！

真保 裕一

講談社

Fーシ

全国には廃線が検討されている路線がたくさんあります。加古川線も、西脇市駅から北はそのような状況で、実際に廃線になってしまった路線も多く見られます。この小説は、赤字のローカル線をなんとか再生しようと奮闘する人々を描いています。沿線住民の協力も得ながら、はたしてローカル線は生き残れるのでしょうか。

・鉄道小説

乗代 雄介ほか

交通新聞社

Fーテ

日本初の鉄道が開業したのは1872年でした。それから150年を迎える際に、「鉄道開業150年交通新聞社鉄道文芸プロジェクト」が立ち上げられます。その一環として出版されたのが、この短編5作品からなる小説集です。収録されている、滝口悠生氏著の「反対方向行き」は、第47回の川端康成文学賞を受賞しています。

・駅の名は夜明(軌道春秋Ⅱ)

高田 郁

双葉社

Fータ

時彦は、19歳で家を飛び出し、もう11年郷里には帰っていません。そんな彼のところに、ある日妹の路(みち)が訪ねてきます。そして妹は、父が癌でもう手遅れだと時彦に告げました。(『背中を押すひと』)時代小説で知られる著者の原点である作品9編が収録されています。『ふるさと銀河線 軌道春秋』も併せてどうぞ。

・鉄道無常 内田百閒と宮脇俊三を読む

酒井 順子

角川書店

915.6ーサ

副題にもあるように、「阿房列車」シリーズを著した内田百閒(ひゃっけん)と『時刻表2万キロ』など多数の鉄道紀行を世に生み出した宮脇俊三の2人の作品を読み進めています。1889年生まれの内田の作品に、1926年生まれの宮脇は、20代の半ばに出会います。移動手段としてではなく、ただ鉄道に乗る喜びを味わえます。

・宮脇俊三鉄道紀行セレクション

小池 滋/編

筑摩書房

291.0ーミ

・山陽鉄道物語

長船 友則

JTBパブリッシング

686.0ーオ

・赤い月、廃線の上に

有栖川 有栖

メディアファクトリー

Fーア

・キシヤソー

小路 幸也

河出書房新社

Fーシ

・電車のおじさん

辛酸 なめ子

小学館

Fーシ

・阪堺電車177号の追憶

山本 巧次

早川書房

Fーヤ

■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日：午前10時～午後8時 日・祝休日：午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【10月の休館日】14日(火)、21日(火)～31日(金)(臨時休館)

【11月の休館日】10日(月)、17日(月)～28日(金)(資料整理期間)



※10月21日(火)から31日(金)まで、図書館システム更新のため臨時休館します。

図書館からのお知らせ

● 市内全ての図書館（室）を臨時休館します

＝図書館システム更新のため、下記の期間市内全図書館（室）は休館します。＝

・図書の返却は各館（室）の返却ポスト、観光案内所にて受け付けます。

・図書館ホームページおよび電子図書館も停止いたします。

（電子図書館は10点まで4週間貸出できますが、停止中は電子書籍の閲覧もできません。）

・両荘みらい学園での、市内各図書館の図書の受け取りも図書館カードの登録もできません。

休館期間：10月21日（火）から31日（金）まで



※休館に伴い、10月7日（火）から20日（月）まで、15冊4週間に変更いたします。

ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

● 読書講演会「加古川の交通と駅弁-舟運から鉄道へ-」

加古川市制75周年記念事業として、加古川駅で販売していた駅弁の掛紙を通して交通と駅弁にまつわる講演を行ないます。

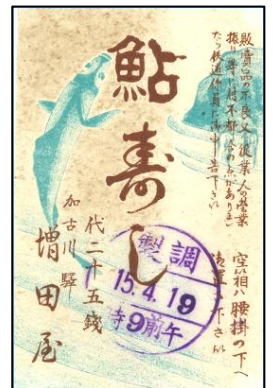
■ 講 師 泉 和夫 氏（駅弁掛紙研究家）

■ 日 時 10月13日（月・祝） 午後2時から午後4時まで

■ 定 員 70人（先着申込順） ■ 参加費 無料

■ 場 所 中央図書館 2階 視聴覚室

■ 申 込 中央図書館窓口、電話079-425-5200にて受付中
※託児あり（先着3名まで。）



● 読書週間のお知らせ



● 親子えほんの会（毎月第1金曜日）

日 時 10月3日（金）

①午前10時30分～10時45分

②午前11時～11時20分

対 象 ①0歳の子どもと保護者

②1歳から3歳までの
子どもと保護者

定 員 各15組（先着順）



すべて開催場所は「おはなしのへや」です。

● えほんのじかん（毎月第2・4土曜日）

日 時 10月11日（土）午後2時～2時30分

対 象 3歳以上の子ども 定 員 30人

● おはなし会（毎月第1・3・5土曜日）

日 時 10月4日、18日（土）午後2時～2時30分

対 象 4歳以上の子ども 定 員 30人